慣用句を きまりで 考えよう③

はじめて 見る ことばを 考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)〜(6)の ことばの 意味を、下の きまりを 手がかりに 考えよう。

ア〜ウは 意味の こうほです。ア〜ウから 1つずつ えらんで、右の □に 記号を 書こう。

この きまりは「だいたい 当てはまる」めやすです。

きまり

腕の ことばは「うでまえ・ぎじゅつ」の はなしが 多い

鼻の ことばは「自信・自慢・いばる」ようすの はなしが 多い

この プリントの ことばは、ぜんぶ きまりに 合う ことばです。

(1) 腕に 覚えが ある

ア うでに のこった きずあとを おぼえて いる

イ 自分の うでまえに 自信が ある

ウ 自分は えらいと 思って、いばって いる

□

(2) 腕に よりを かける

ア 自慢して、まわりの 人に いばって 見せる

イ うでに 糸を よりあわせて 太く する

ウ うでまえを 見せようと はりきって じゅんびを する

□

(3) 腕利き

ア しごとの うでまえが すぐれて いる 人

イ うでの ちからが とても 強い 人

ウ えらそうに いばって いる 人

□

(4) 腕自慢

ア 太い うでを 見せて 友だちを わらわせる こと

イ えらそうに いばって 人を 見下す こと

ウ 自分の うでまえを 人に ほこる こと

□

(5) 鼻持ちならない

ア はなの においが きつくて、がまん できない

イ えらそうで いやみな ようすが、見て いられない

ウ うでまえが わるくて、しごとが はかどらない

□

(6) 鼻っ柱が 強い

ア 気が 強くて、人に まけたがらない

イ ぎじゅつを みがいて、うまく なる

ウ はなの ほねが かたくて、おれにくい

□

慣用句を きまりで 考えよう③【こたえ】

はじめて 見る ことばを 考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

まるつけ 腕の ことばは うでまえの はなし、鼻の ことばは 自信・自慢の はなし。

字の とおりの 意味や、もう一方の きまりの 意味に ひかれて いないか 聞いて みよう。

きまり

腕の ことばは「うでまえ・ぎじゅつ」の はなしが 多い

鼻の ことばは「自信・自慢・いばる」ようすの はなしが 多い

この プリントの ことばは、ぜんぶ きまりに 合う ことばです。

(1) 腕に 覚えが ある

ア うでに のこった きずあとを おぼえて いる

イ 自分の うでまえに 自信が ある

ウ 自分は えらいと 思って、いばって いる

ア=字どおりに 読んだ 意味 ウ=鼻の きまりの 意味

イ

(2) 腕に よりを かける

ア 自慢して、まわりの 人に いばって 見せる

イ うでに 糸を よりあわせて 太く する

ウ うでまえを 見せようと はりきって じゅんびを する

ア=鼻の きまりの 意味 イ=字どおりに 読んだ 意味

ウ

(3) 腕利き

ア しごとの うでまえが すぐれて いる 人

イ うでの ちからが とても 強い 人

ウ えらそうに いばって いる 人

イ=字どおりに 読んだ 意味 ウ=鼻の きまりの 意味

ア

(4) 腕自慢

ア 太い うでを 見せて 友だちを わらわせる こと

イ えらそうに いばって 人を 見下す こと

ウ 自分の うでまえを 人に ほこる こと

ア=字どおりに 読んだ 意味 イ=鼻の きまりの 意味

ウ

(5) 鼻持ちならない

ア はなの においが きつくて、がまん できない

イ えらそうで いやみな ようすが、見て いられない

ウ うでまえが わるくて、しごとが はかどらない

ア=字どおりに 読んだ 意味 ウ=腕の きまりの 意味

イ

(6) 鼻っ柱が 強い

ア 気が 強くて、人に まけたがらない

イ ぎじゅつを みがいて、うまく なる

ウ はなの ほねが かたくて、おれにくい

イ=腕の きまりの 意味 ウ=字どおりに 読んだ 意味

ア